

## 成功の秘訣

福島伸悦

上場企業の社長との一問一答。

「成功の秘訣を教えてください」

社長「運ですよ、運。」

「運と言っても、運を引き寄せるには何かあるのではないですか」

社長「徳を積むことかな」

「徳を積むといっても具体的に何をすればよいのですか」

社長「毒をとることです」

なんとなく現代版禅問答のようです。頓智がきいていているけど真理だと思いう会話です。「とく(徳)を積むことはどく(毒)をとる」という結論のところ。「どく」の濁点をとると「とく」になります。

仏教では、諸悪の根源が三毒(貪瞋痴)であるといわれています。毒とは煩惱、つまり執着のことです。お釈迦様は、万人が幸せになるためにどうしたらよいかを説いておられます。まさに、毒をとること、執着から離れる事なのです。

貪(とん)とは、むさぼることで際限なくあれこれ欲することです。欲望は一つ叶えばまた次の欲が出てきて、とどまることはありません。これを貪欲といいます。自らの私利私欲のために、人を押しつけたり、だましたりする人、あるいは金銭欲が強すぎるそんな人を「我利我利亡者」、「自己中」な人と言われる所以です。とはいえ無欲ならば良いわけではなく、向上心からくる欲ならばいいのです。

瞋(じん)とは、簡単に言えば怒りの感情です。自分の意にそわないことに対して激しく怒ったり、妬んだり、恨んだりすることで、周囲をより不快にさせることです。

痴(ち)とは、愚痴ることです。うらみ、ねたみ、そねみ、憎しみの心です。幸せそうな人を見るとおもしろくなく、ねたましくなってくる心です。成功している人を見て、苦々しく思う心です。一緒に喜んであげればいいのに、素直に喜べない心のことです。

成功された企業の社長の言葉はまさに真理です。「三方良し」という近江商人の家訓がありますが、売り手良し、買い手良し、世間良しの精神こそ成功の秘密なのではないでしょうか。